

4月	単元名・教材名	教えて、あなたのこと
	指導目標 ◎楽しみながら、インタビューをしたり人物紹介をしたりすることができる。	
	言語活動 ■インタビューをする。■人物紹介をする。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 教材文を読み、活動の目的と流れを確かめる。 3 インタビューをした後、教材文の例を参考に、紹介するための一文を考える。 4 P8「いつも気をつけよう」の「話すとき」「聞くとき」を読んで確かめ、友達を紹介する。	・扉の詩を読み、目次やP6「五年生の学習を見わたそう」(このページは、学習の中で適宜確認するとよい。)を見て、1年間の学習を見通す。
	【関】 友達を紹介するためにインタビューをすることを楽しみ、インタビューをした内容を伝えようとしている。 【話・聞】 インタビューをして聞き取った内容を整理し、一文にまとめて友達を紹介している。	
4月	単元名・教材名	5年生の国語学習を始めよう・ふるさと あめ玉(3)
	指導目標 ○場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、それが表れるように音読することができる。 ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ち変化・情景などについて、想像しながら読むことができる。	
	言語活動 ■自分の思いが伝わるように音読する。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 文語調の表現を楽しみながら詩を読み、場面の様子を想像して発表する。 2 場面の様子を捉えながら、「あめ玉」を音読する。 3 この物語のおもしろさがどこにあるか考え、そう感じた理由を説明し合う。 4 課題や、おもしろさの理由について考えたことを生かして、物語のおもしろさが伝わるように、もう一度音読する。	・P19「五年生の学習に生かそう」の「音読をするとき」を読み、気をつけることを確かめる。 ・脚注の課題について、一人で考えたりみんなで話し合ったりする。 ・P16-17を、役割を決めて、人物の気持ちや場面の様子が伝わるように音読する。 ・P19を読み、4年生までの学習で学んだことを今後の学習に生かすことを確認する。
	【関】 これまで学んできたことを確かめたり、「五年生の学習に生かそう」を読んだりして、これからの学習の見通しをもとうとしている。 【読(3・4年)】 場面の様子が表れるように、読む速さ、強弱、声の調子、間の取り方を考えて音読している。 ・人物の役割、行動、位置関係など、正確に読み取るべきことを確かめている。 【言】 物語の構成について理解している。	
4月	単元名・教材名	1 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう ・なまえつけてよ(4)
	指導目標 ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合ったり広げたり深めたりすることができる。	
	言語活動 ■描写をとらえながら、感想を伝え合う。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 会話や行動を表す語句・文などをもとに、登場人物の心情について考える。 3 登場人物の行動に着目しながら、それぞれの人物の心情の変化や関係の変化が分かるところを見つけ、感じたことや考えたことを伝え合う。 4 自分と比べて教材文を読んだ感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。	・友達の新たな一面を知って考え方が変わったことや、あまり親しくなかった人と何かをきっかけに親しくなったことなど、人との関わり合いについて、自分の体験を簡単にまとめる。 ・教材文を読み、登場人物どうしの関係について考え、感想をノートにメモする。 ・「登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・感想を聞き合い、自分の考えが広がったり深まったりしたことをノートに書く。

	<p>【関】自分の体験をもとにするなど、想像して読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の変化や登場人物どうしの関係、場所、時、背景を読み取っている。 ・他者の感想との共通点や相違点を確認し、一人では気づかなかったことを確認している。 <p>【言】語句と語句との関係を理解しながら文章を読み取っている。</p>	
4月	単元名・教材名	漢字の広場①（２）
	指導目標	◎４年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。
	言語活動	■絵の内容をくわしく説明するための文章を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1 提示された言葉を使い、４年生までに習った漢字を正しく書いて、図書館の人になったつもりで本の場所や図書館の使い方について説明する文や文章を書く。	・教科書にある言葉の読みと、間違いやすい言葉の確認を一斉に指導しておく。
	<p>【関】絵に描かれているものの様子について、教科書中の言葉を使いながら分かりやすく説明しようとしている。</p> <p>【書】図書館の人の立場になって説明する文を書いているかどうかを確かめている。</p> <p>【言】提示されている漢字を文の中で正しく用い、絵について説明する短文を作っている。</p>	
4月	単元名・教材名	春の空（２）
	指導目標	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。 ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。
	言語活動	■書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。
	学習活動	指導上の留意点
	1 春のどんどこが好きなところについて発表し合う。 2 「枕草子」を音読したり暗唱したりし、「春」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。 3 「枕草子」や教科書に出てくる春を表す言葉を参考に、春らしいものや様子について文章に書く。 4 書いたものを互いに読み合い、交流する。	・意味の分からない言葉は事前に指導しておき、児童が作品のイメージを広げやすくする。
	<p>【関】春を表す言葉に興味をもっている。</p> <p>【書】・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・表現の効果などを確かめている。</p> <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。 	
4月 ～ 5月	単元名・教材名	・新聞を読もう（３）
	指導目標	◎新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったり、要旨をとらえたりすることができる。
	言語活動	■新聞を調べて分かったことや考えたことについて話し合ったり提案したりする。
	学習活動	指導上の留意点
	1 教材文を読み、新聞の一面の構成を確認する。 2 新聞（一般紙）を持ち寄り（あるいは教師が用意し）、どのような作りになっているか確かめながら読み、感想をノートに書く。 3 新聞のそれぞれの面にどのような分野の記事が書かれているか、グループで調べる。 4 グループで意見をまとめ、実物を見せながらクラスに報告する。 5 同じ出来事を伝える二つの記事を比べて読み、見出しや写真の違いが読者に与える印象について話し合う。 6 見出しや写真に着目して読みたい記事を見つけ、いちばん興味をもった記事を読んで、意見や感想を書く。	・話し合ったことをもとに、自分の考えをノートにまとめる。
	<p>【関】新聞に興味をもち、新聞の面や記事の構成を確認しながら読もうとしている。</p> <p>【読】・発信者の違いによって、内容や表現が違うことを理解している。 ・見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら読んでいる。</p> <p>【言】文章の構成の一つとして、新聞記事のもつ構成に気づいている。</p>	

5月	単元名・教材名	漢字の成り立ち（2）	
	指導目標	◎漢字の成り立ちについて理解することができる。	
	言語活動	■漢字の成り立ちについて調べたり理解したりする。	
		学習活動	指導上の留意点
		1 教科書を読み、漢字の成り立ちには大きく分けて4種類あることを理解する。 2 既習漢字の中から会意文字を探し、成り立ちについて考える。 3 教科書の問題を解き、形声文字について、漢字辞典を使いながら確かめる。	・漢字の成り立ちには4種類あることを教科書と漢字辞典から確認させる。 ・漢字辞典を引く速さに差があることが予想されるので、速く調べ終わった児童にも課題を用意しておく。
		【関】漢字の成り立ちについて、進んで漢字辞典で調べようとしている。 【言】漢字の成り立ちについて知り、会意文字・形声文字について調べている。	
5月	単元名・教材名	2 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう・見立てる ・生き物は円柱形（7）	
	指導目標	◎要旨を捉えて自分の考えを明確にしながらか読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
	言語活動	■筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表する。	
		学習活動	指導上の留意点
		1 学習の見通しをもつ。 2 文章全体を「初め」「中（前半）」「中（後半）」「終わり」に分け、文章構成を捉える。段落相互の関係に注意しながら、「書いてあること」「大事な語や文」という観点で、内容を表に整理する。 3 文章の要旨を150字以内でまとめる。 4 筆者の考えや、考えの進め方に対する自分の考えを書き、発表する。 5 学習を振り返る。	・「見立てる」を読み、文章構成や例の挙げ方から筆者の考えの進め方を捉え、自分の意見を発表し合う。 ・「筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・「生き物は円柱形」を読み、筆者が伝えようとしたことは何かを考える。 ・段落と段落の関係から考えの進め方を読み取る。 ・事実の取り上げ方や書き方に筆者の考えが表れていることを理解する。 ・「——である。」「——ということもできる。」「——にちがいない。」などの文末表現にも着目し、筆者の考えの進め方を捉える。 ・教材文を読んで共感・納得したこと、疑問に感じたことを整理する。 ・まとめた要旨や、共感・納得・疑問などをもとに、自分の考えをまとめる。
		【関】文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えの進め方に対して自分なりの考えをもとうとしている。 【読】 ・筆者が話題としていることや主張していることを読み取っている。 ・筆者の考えや、考えの進め方について感じたことを、引用したり内容を要約したりしながらまとめている。 【言】語句と語句の関係に気をつけて、論の進め方を読み取っている。	
5月	単元名・教材名	漢字の広場②（1）	
		※以下、漢字の広場①（4月）に準ずる	
5月	単元名・教材名	古典の世界（一）（2）	
	指導目標	◎昔の人のものの見方や感じ方について知ることができる。	
	言語活動	■音読する。	
		学習活動	指導上の留意点
		1 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」の始まりの部分を音読したり、一つ選んで暗唱したりする。 2 古文を読んで、昔の人のものの見方に触れ、感じたり考えたりしたことをノートに書く。	・書いたことを発表し、互いの気づきを交流する。
		【関】文語の調子を楽しみ、言葉の響きやリズムをつかんで声に出したり感想をもったりしている。 【言】 ・すらすらと音読している。 ・昔の人のものの見方・感じ方について考えている。 ・時代によって言葉の違いがあることに気づいている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	

5月 6月	単元名・教材名	・きいて、きいて、きいてみよう（6）
	指導目標	◎話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめることができる。
	言語活動	■インタビューをする。■インタビューを聞いて、報告する。
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見直しをもつ。 2 グループを作り、インタビューをする順番を決める。 3 話し手の人柄や考え方を引き出すような話題や質問を考え、インタビューの計画を立てる。 4 P65を読み、それぞれの役割の気をつけることを踏まえ、インタビューをしたり、インタビューを受けたり、インタビューの様子を記録したりする。 5 記録したメモを見ながらインタビューの内容を報告し、報告を聞いて気づいたことを伝え合う。 6 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「休みの日の過ごし方」について、インタビューする役割とされる役割を決め、グループ内でインタビュー活動をする。 ・聞き手と話し手のやり取りを聞き、うまくいったところ、うまくいかなかったところなど、気づいたことを全体で報告し合う。 ・「話の意図を考えてきき合い、『きくこと』について考えよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・それぞれの「きく」について、違いや、気をつけるとよいことを話し合う。
	【関】 目的や状況に応じた「きく」という行為について考えようとしている。 【話・聞】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的と意図に照らして、インタビューする内容をあらかじめ考えている。 ・複数の内容を組み合わせ、ひとつながりの話として構成し、話している。 ・聞いた内容を幾つかの観点から比べている。 【言】 話し言葉を記録し、再構成して発表している。	
6月	単元名・教材名	敬語（2）
	指導目標	◎日常よく使われる敬語の使い方に慣れることができる。
	言語活動	■相手や場に応じた言葉を使う。（
	学習活動	指導上の留意点
	1 自分の日常の言葉遣いについて考える。 2 教科書を読み、「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」について理解し、ノートに書いて整理する。 3 課題について、どんな表現にしたらいかがをノートに書き、話し合っただけ確認する。 4 日常生活の中で、敬語を使うべき場面、使うべき言葉や表現について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「友達に伝える場合」と「先生に伝える場合」というように、具体的な場面を想定し、児童が日常生活でも敬語を活用しやすくする。
	【関】 相手や場面による表現の違いについて考え、進んで発表しようとしている。 【言】 敬語とその3分類を理解し、それらの使い方について考えている。	
	単元名・教材名	本は友達 ・広がる、つながる、わたしたちの読書 千年の釘にいどむ
	指導目標	◎複数の本や文章を読んだ中から、薦めたい本を選ぶことができる。 ○本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（
	言語活動	■本を読んで、その本を薦める文章を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1 教科書を読み、「活動の流れ」を確認して、「本をしょうかいし合っ、読書の新たなみりよくを見つかけよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 P71-73 を読んで本を紹介する方法を知り、それぞれのよさについて考える。 3 「千年の釘にいどむ」を読む。 4 これまでに読んだ本や図書館などで新たに探した本から、薦めたい1冊を決め、どの方法でどのように伝えるか考え、ポスター、ポップ、帯のどれかを作る。 5 書いたものを読み合い、感想を伝え合ったり、友達が薦めるものの中から選んで本を読み、読後の感想を伝え合ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「千年の釘にいどむ」を誰かに薦めるならばどのようにするかを、P73を参考に考える。 ・P84のコラムで、著作権について確認する。

	<p>【関】本を友達に薦めるとい活動に興味をもっている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を推薦する文章を書いて読み合うことを通して、自分の考えを深めている。 ・本を推薦するために、複数の本を読んだり、読んだ本の中から選んだりしている。 	
7月	単元名・教材名	漢字の広場③（1）
	※以下、漢字の広場①（4月）に準ずる	
7月	単元名・教材名	夏の夜（2）
	<p>指導目標 ◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。</p> <p>言語活動 ■季節を表す言葉を使って文章を書く。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 夏のどんなどころが好きかについて発表し合う。</p> <p>2 「枕草子」を音読したり暗唱したりし、「夏」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。</p> <p>3 「枕草子」や教科書に出てくる夏を表す言葉を参考に、夏らしいものや様子について文章を書く。</p> <p>4 書いたものを互いに読み合い、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意味の分からない言葉は事前に指導しておき、児童が作品のイメージを広げやすくする。
	<p>【関】夏を表す言葉に興味をもっている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・表現の効果などを確かめている。 <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。 	
7月	単元名・教材名	3 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう（10）
	<p>指導目標 ◎文章全体の構成の効果を考え、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについて工夫することができる。</p> <p>言語活動 ■活動を報告する文章を書く。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>2 P90「活動報告書の構成」を確認し、構成要素のそれぞれの部分について、作例ではどう書かれているか確かめる。</p> <p>3 報告書の構成にあわせて、報告に必要なことを考え、書くための材料をメモしたり、整理したりする。</p> <p>4 作例から、工夫していると思うところや、自分もこのように書きたいと思うところを見つける。</p> <p>5 報告書の構成メモを作り、報告する活動内容を決めて、活動報告書を書く。</p> <p>6 P92を読み、推敲の観点を確認し、活動報告書を読み直し、推敲する。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書を書く目的について考え、P90-91の作例を読み、報告書を読んだ感想を交流する。 ・「活動の流れ」を確認し、4月からの活動を振り返り、報告書にまとめたい活動を決める。 ・「事実と考えを区別して、活動報告書を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・小見出しの付け方、説明のしかた、事実と考えの書き方などについて注意して読み、自分の報告書の書き方を考える。 ・活動報告書を読み合い、活動の内容や報告書の書き方についての感想を交流する。 ・交流を通して、友達との違いを確認めたり、学んだ知識を整理したりする。
	<p>【関】学校での活動を振り返り、今後をよりよくするために活動報告書を書こうとしている。</p>	

	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書の書き方を理解し、型に沿って書いている。 ・活動報告書の書き方を理解し、必要な内容を考えている。 ・目的に照らして、軽重をつけたり取舍選択をしたりしている。 ・適切な表現を意識して書いている。 ・目的や読者に立ち返って読み直す観点を意識している。 <p>【言】 活動報告書の構成を理解している。</p>				
9月	<p>単元名・教材名 からたちの花（1）</p>				
	<p>指導目標 ◎自分の思いや考えが伝わるように音読するとともに、優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>言語活動 ■言葉のリズムを味わいながら音読する。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 詩を音読し、五音・七音のリズムを味わったり、言葉の繰り返しを楽しんだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう読むのがよいか、それはなぜかを考える。 <p>2 同じ言葉の繰り返しから受ける印象や、読後の感想について発表し合う。</p> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 詩を音読し、五音・七音のリズムを味わったり、言葉の繰り返しを楽しんだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう読むのがよいか、それはなぜかを考える。 <p>2 同じ言葉の繰り返しから受ける印象や、読後の感想について発表し合う。</p>	
	学習活動	指導上の留意点			
	<p>1 詩を音読し、五音・七音のリズムを味わったり、言葉の繰り返しを楽しんだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう読むのがよいか、それはなぜかを考える。 <p>2 同じ言葉の繰り返しから受ける印象や、読後の感想について発表し合う。</p>				
<p>【関】 言葉の繰り返しや五音・七音の調子を楽しみ、音読しようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読を工夫し、理由を説明している。 ・感想をもち、根拠を話している。 <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚などに関心をもっている。 ・比喩や反復の効果に気づいている。 					
9月	<p>単元名・教材名 カンジー博士の暗号解読（2）</p>				
	<p>指導目標 ◎クイズを通して同じ音の漢字を書き分けるとともに、5年生までに学習した漢字を読んだり書いたりすることができる。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 教科書を読み、暗号の解読のしかたを確かめ、第一問を解読する。</p> <p>2 漢字辞典や国語辞典を活用しながら、第二問、第三問を解読し、グループで確かめ合う。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・同音の漢字が解読の鍵であることに気づく。 ・漢字辞典や国語辞典を使い、漢字を確かめる。 ・自分で問題を作り、交換して解読し合ってもよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 教科書を読み、暗号の解読のしかたを確かめ、第一問を解読する。</p> <p>2 漢字辞典や国語辞典を活用しながら、第二問、第三問を解読し、グループで確かめ合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同音の漢字が解読の鍵であることに気づく。 ・漢字辞典や国語辞典を使い、漢字を確かめる。 ・自分で問題を作り、交換して解読し合ってもよい。
	学習活動	指導上の留意点			
<p>1 教科書を読み、暗号の解読のしかたを確かめ、第一問を解読する。</p> <p>2 漢字辞典や国語辞典を活用しながら、第二問、第三問を解読し、グループで確かめ合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同音の漢字が解読の鍵であることに気づく。 ・漢字辞典や国語辞典を使い、漢字を確かめる。 ・自分で問題を作り、交換して解読し合ってもよい。 				
<p>【関】 同音の漢字に興味をもち、進んで問題に取り組もうとしている。</p> <p>【言】 漢字辞典や国語辞典を活用しながら、問題を解読している。</p>					
9月 10月	<p>単元名・教材名 日常を十七音で（3）</p>				
	<p>指導目標 ◎言葉の選び方や表現の効果について、確かめたり工夫したりすることができる。</p> <p>言語活動 ■俳句を作る。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点		
学習活動	指導上の留意点				

	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 生活の中で気づいたことや驚いたことを思い出し、短い文章で書き留め、俳句を作る材料を集める。</p> <p>3 材料として集めた短い文章や季語を組み合わせ、五・七・五のリズムで俳句を作る。</p> <p>4 P100-101を参考にして、作った俳句の表現を工夫する。</p> <p>5 グループで俳句を読み合い、言葉や表現を工夫したところを説明したり、友達の俳句に対する感想を伝えたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ P101 の三つの俳句を読み、自分のいちばん気に入った俳句を決め、その理由を発表し合う。 ・ 「言葉をよりすぐって俳句を作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。
	<p>【関】 俳句を読み、感想を話したり自分で作ろうとしたりしようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の選び方や順序について、確かめたり工夫したりしようとしている。 ・ よりよくするために助言し合っている。 <p>【言】 語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持ちながら俳句を作っている。</p>	
10月	<p>単元名・教材名 和語・漢語・外来語（2）</p>	
	<p>指導目標 ◎和語・漢語・外来語の由来を理解し、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる</p>	
	<p>言語活動 ■身の回りの和語・漢語・外来語の使い分けをする。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 P102の(1)と(2)の文章表現の「感じの違い」について話し合う。</p> <p>2 和語・漢語・外来語の違いを理解し、例文や身の回りにある文章から、和語と漢語の意味の違いを考えたり、外来語を探したりする。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢語と和語の違いであることを理解する。 ・ 身の回りには、和語・漢語・外来語が多く存在することに気付かせ、言葉を分類することに興味をもたせる。
	<p>(関) 和語・漢語・外来語の由来を知り、言葉の種類や使い分けに興味をもっている。</p> <p>(言) 和語・漢語・外来語の区分けや使い分けを確かめながら、読んだり書いたりしている。</p>	
9月 10月	<p>単元名・教材名 4 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう 明日をつくるわたしたち [コラム] 意見が対立したときには（14）</p>	
	<p>指導目標 ◎話題を決めて、収集した知識や情報を関連づけ、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。</p> <p>◎自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。</p>	
	<p>言語活動 ■自分の考えをまとめて、討論する。■自分たちの身の回りの問題について調べ、解決するための提案書を書く。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 グループで、どの問題について解決の方法を提案するか話し合っ決めてため、自分が考えたい問題について、インターネットなどを使って情報を集め、考えをまとめる。</p> <p>3 P106-107 のグループ協議の進め方を確かめ、グループで提案する問題を話し合っ決めて。</p> <p>4 3 で決めた問題について、提案する内容とその理由、現状と問題点、解決する方法などを考えるために、役割分担して資料を集める。</p> <p>5 提案する内容とその理由、現状の問題点と解決する方法についてグループで話し合い、提案書に書く内容を明確にする。</p> <p>6 提案書の構成を考え、話し合いながら、構成メモを作成する。</p> <p>7 構成メモに沿って役割分担をし、自分の役割の部分について記述する。</p> <p>8 それぞれが書いたものを読み合い、話し合っ、修正を加えながら、提案書を作成する。</p> <p>9 書き終えた提案書を読み返し、推敲する。</p> <p>10 推敲して考えたことをもとに、グループで話し合いながら、説得力が増すよう表現を工夫して、清書する。</p> <p>11 他のグループの提案書を読み合い、文章の書き方についての感想を伝え合う。</p> <p>12 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ P104-105 を読み、自分たちの身の回りにどんな問題があるか発表する。発表された問題について、自分の考えをノートにまとめる。 ・ P108 の作例を読み、文章の書き方についての感想をノートにまとめる。 ・ 「考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・ P107 「たいせつ」と P110 「意見が対立したときには」を読む。 ・ P108 の作例を読み、提案書の書き方を確認する。 ・ 協議したり、提案書を書いたりするときの方法や大切なことについて学んだことをノートにまとめる。 				
	<p>【関】 問題について調べ、解決のための提案書を書くということに関心をもち、問題に関する情報を集めたり、自分の考えをまとめたりしようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した知識や情報を関連づけて話し合っている。 ・ 話題に対する自他の考え方、感じ方の違いを知り、それを表している。 <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットによる情報収集の方法を知り、幾つかの方法を用いて情報を集めている。 ・ 提案書の構成を明確にして、書いている。 ・ 事実と感想、意見を区別して、目的や意図に応じて提案書を書いている。 ・ 書いたものを読み合い、よりよくなるよう推敲している。 <p>【言】 言葉から受ける感じや、言葉の使い方について関心をもち、説得力が増すように表現を工夫している。</p>					
10月	<p>単元名・教材名</p>	<p>漢字の読み方と使い方（2）</p> <hr/> <p>指導目標 ◎複数の音をもつ漢字の読み方と、特別な読み方をする言葉について理解することができる。</p> <p>言語活動 ■漢字辞典を使って漢字の読み方の違いを調べたり熟語作りをしたりする。</p> <table border="1" data-bbox="193 1798 1455 2078"> <thead> <tr> <th data-bbox="193 1798 799 1843">学習活動</th> <th data-bbox="799 1798 1455 1843">指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="193 1843 799 2078"> <p>1 例文を読み、漢字は言葉によって読み方が変わる場合があることを確認する。</p> <p>2 P112下段の例を参考に、空欄に当てはまる漢字を考え、それぞれ四つの熟語作りをする。</p> <p>3 教科書を読み、二つ以上の漢字が結び付いた言葉に特別な読み方をするものがあることを理解し、例文とともにノートに書く。</p> </td> <td data-bbox="799 1843 1455 2078"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字辞典を引かせる前に、「熟語作りをする」という、学習のねらいを伝えておく。 ・ 言葉集めや熟語作りの数は、児童の実態に応じる。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 例文を読み、漢字は言葉によって読み方が変わる場合があることを確認する。</p> <p>2 P112下段の例を参考に、空欄に当てはまる漢字を考え、それぞれ四つの熟語作りをする。</p> <p>3 教科書を読み、二つ以上の漢字が結び付いた言葉に特別な読み方をするものがあることを理解し、例文とともにノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字辞典を引かせる前に、「熟語作りをする」という、学習のねらいを伝えておく。 ・ 言葉集めや熟語作りの数は、児童の実態に応じる。
学習活動	指導上の留意点					
<p>1 例文を読み、漢字は言葉によって読み方が変わる場合があることを確認する。</p> <p>2 P112下段の例を参考に、空欄に当てはまる漢字を考え、それぞれ四つの熟語作りをする。</p> <p>3 教科書を読み、二つ以上の漢字が結び付いた言葉に特別な読み方をするものがあることを理解し、例文とともにノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字辞典を引かせる前に、「熟語作りをする」という、学習のねらいを伝えておく。 ・ 言葉集めや熟語作りの数は、児童の実態に応じる。 					

	(関) 漢字の読み方や使い方に興味をもって教科書を読んだり、漢字辞典で調べたりしようとする。 (言) 複数の音をもつ読み方や特別な読み方をする漢字があることを理解し、正しく読んだり書いたりしている。	
10 月 ～ 11 月	単元名・教材名	5 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう 大造じいさんとガン(87)
	指導目標 ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。	
	言語活動 ■物語の魅力を紹介する。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 登場人物の関わりによって変化する心情を読み取り、ノートにまとめる。 3 「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が大きく変わった場面を探し、理由とともに話し合う。 4 情景が効果的に描かれた部分から人物の心情を考えるとともに、印象に残った表現とその理由をまとめる。 5 物語の魅力のまとめ方を確認し、自分の感じた魅力を伝えるために工夫してまとめる。 6 物語の魅力について、友達の発表を聞き、自分と比べて感想を交流する。 7 学習を振り返る。	・「物語の魅力」の観点について整理する。 ・教師の範読を聞き、この物語の魅力や印象に残った表現についてノートに書く。 ・「すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・印象に残った心情表現や動きを表す表現を書き留める。 ・印象に残った場面について、人物の心情や場面の様子が伝わるように音読する。
【関】人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。 【読】 ・心情や場面の様子が伝わるように音読している。 ・「情景」の意味について理解している。 ・登場人物の心情や動き、情景を表す表現を捉え、自分の考えをまとめている。 ・友達の発表を聞いて、感想を伝え合っている。 【言】言葉や表現に気をつけて様子を想像している。		
11 月	単元名・教材名	漢字の広場④(1)
	※以下、漢字の広場①(4月)に準ずる	
11 月	単元名・教材名	秋の夕暮れ(2)
	指導目標 ◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。	
	言語活動 ■音読したり暗唱したりする。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 秋のどんどこが好きなところについて発表し合う。 2 「枕草子」を音読したり暗唱したり、「秋」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。 3 「枕草子」や教科書に出てくる秋を表す言葉を参考に、秋らしいものや様子について文章に書く。 4 書いたものを互いに読み合い、交流する。	
【関】秋を表す言葉に興味をもっている。 【書】 ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・表現の効果などを確かめている。 【言】 ・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。		
11 月	単元名・教材名	6 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう ・天気予想する[コラム]グラフや表を読む(6)
	指導目標 ◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
	言語活動 ■筆者の説明の工夫について考えをまとめる。	

		学習活動	指導上の留意点
		1 学習の見通しをもつ。 2 文章の構成を整理し、論の進め方や説明のしかたの工夫についてまとめる。 3 筆者が表やグラフ、写真、図を使った意図とその効果について考える。 4 数値を用いて説明することの効果について考える。 5 筆者の伝えなかったことに対する自分の考えをまとめ、グループで交流する。 6 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、初めて知ったことや、説明のしかたが工夫されていると思ったところを発表する。 「説明のしかたの工夫を見つけて、話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 P148「言葉」を読み、どのように読むと文意がとりやすいかを確認する。 「問い」と「答え」の関連について考える。 P148 のコラムで、グラフや表を読むときに注意することを確認する。
		【関】 題材、筆者の考え、説明のしかたに興味をもって読もうとしている。 【読】 <ul style="list-style-type: none"> 筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取っている。 筆者の主張、根拠を自分なりに評価する観点を持ち、筆者の主張についての意見を表している。 筆者の説明の工夫やその効果が表れている部分に気づき、読み取っている。 【言】 語と語の関係に気をつけることで、文の意味が捉えやすくなることに気づいている。	
11月 12月	単元名・教材名	グラフや表を用いて書こう（6）	
	指導目標	◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。	
	言語活動	■統計資料を根拠に、意見を書く。	
		学習活動	指導上の留意点
		1 「天気を予想する」での学習を生かし、「グラフや表を用いて、暮らしについての意見を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「今、生きている社会は暮らしやすい方向に向かっているか」について、グループで意見を交流する。 3 P150-151のグラフや表も参考にしながら、自分の考えに合った資料を集め、考えたことをまとめる。 4 グラフや表を用いて、意見を文章に書く。 5 書いた文章を友達と読み合い、考え方や文章の書き方、表やグラフの用い方について、意見や感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> P152の作例を読む。 「自分の考え」「グラフや表の説明とそれをもとに考えたこと」「まとめ」の組み立てで、何を、どの順序で書くか決める。 P153「たいせつ」を確認する。
	【関】 意見に説得力をもたせるときの、グラフや表の有効性に気づき、書いたものを読んで確かめようとしている。 【書】 <ul style="list-style-type: none"> 社会生活に関わる統計資料から必要な材料を見つけている。 自分の考えと根拠などを書き分けている。 図表やグラフなどを用いて、自分の考えを伝えている。 他者の文章を読んで、優れた点を具体的に指摘している。 【言】 意見文の構成要素を理解している。		
12月	単元名・教材名	同じ読み方の漢字（2）[コラム] 文の組み立て	
	指導目標	◎同訓異字、同音異義語について知り、言葉や漢字への興味を深めることができる。	
	言語活動	■同訓異字、同音異義語の意味を理解し、調べる。	
		学習活動	指導上の留意点

	<p>1 同じ読み方でも意味の違う漢字や熟語があることを、問題を解きながら理解する。</p> <p>2 同じ訓の漢字を集めて意味を漢字辞典で調べたり、同じ音の熟語を集めて意味を国語辞典で調べたりする。</p> <p>3 同じ内容を伝えるときに、文を一つにつなげたり、二つに分けたりできることを知り、主語と述語の関係に気をつけて文をつなげたり分けたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・辞典は、漢字辞典と国語辞典を用意する。 ・適切な言葉に線を引く活動から、児童を評価したり支援したりする。
	<p>(関) 漢字や言葉の読みと意味の関係に興味をもち、進んで調べたり考えたりしている。</p> <p>(言) 同訓異字や同音異義語を集めて、それぞれの意味を調べている。</p>	
12月	単元名・教材名	7 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう ・百年後のふるさとを守る
	指導目標 ◎目的に応じて、本や文章を比べたり関連させたりして読み、自分の考えを広げたり深めたりすることができる	
	言語活動 ■伝記を読み、自分の生き方について考える。	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 教材文を読み、物語のように書かれている部分と、事実の説明や筆者の考えが書かれている部分を確認しながら読み、伝記のもつ特徴をまとめる。</p> <p>3 「儀兵衛」がしたことと彼の考え方、筆者が「儀兵衛」の業績に見いだしている意味についてノートにまとめる。</p> <p>4 「儀兵衛」の行動や考え方で、自分もこうありたいと思うところや、筆者が考える「意味」について、なるほどと思うところをグループで話し合い、「生き方」について考える。</p> <p>5 P168 を参考にして選んだ本を2・3と同じ観点で読み、自分の生き方について考えたことを200字程度でまとめる。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝記を読んだ経験や感想、伝記を読んで学んだことや参考になったことを発表する。 ・「伝記を読み、自分の生き方について考えよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・まとめたことを発表し合い、感想を述べ合う。
	<p>【関】「伝記」という文章や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝記の特徴を理解している。 ・自分の経験や考え方と照らし合わせて、描かれている人物や出来事、筆者のものの見方・考え方についての感想をもっている。 ・友達の見方、考え方との共通点・相違点を確認している。 ・同じ種類の本や文章から、目的に応じて、より適切なものを選んでいく。 <p>【言】 同じ種類の本や文章を読み、「伝記」のもつ構成について気づいている。</p>	
12月	単元名・教材名	・古典の世界(二)(1)
	指導目標 ◎漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知ることができる。	
	言語活動 ■漢文特有のリズムや言葉を楽しんで音読する。	

		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 大意を参考に意味を考えたり、孔子と弟子との問答の場面を想像したりしながら、「論語」や漢詩「春暁」を声に出して読む。</p> <p>2 暗唱したい論語や漢詩を決め、交互に聞き合いながら、音読したり暗唱したりして楽しむ。</p>	<p>・登場人物や背景について補足し、児童が場面を想像しやすくする。</p>
		<p>(関) 漢文特有の言い回しやリズムを楽しみながら声に出して読もうとしている。</p> <p>(言) 語感や言葉の使い方、昔の人のものの見方・感じ方に関心をもっている。</p>	
12月	単元名・教材名	・分かりやすく伝える(3)	
	指導目標	◎語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。	
	言語活動	■感想を伝え合う。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 ノートにまとめたものなど、これまでに書いた文章を読み返し、分かりにくいところはないか、どうして分かりにくいのかを考え、意見を交流する。</p> <p>2 「分かりやすい文章を書く技を身につけよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>3 教材の例文を基に、相手に応じて言葉や表現を選ぶこと、主語と述語を対応させること、一文の長さ気をつけることを確かめる。</p> <p>4 3で学んだことを生かして、これまでに書いた文章を分かりやすくなるよう書き直す。</p> <p>5 グループで文章を読み合い、感想を伝え合う。</p>	
		<p>【関】 分かりやすい文章を書くために気をつけることを知り、文章を書き直そうとしている。</p> <p>【書】 表現の効果などを確かめ、分かりやすい文章を書いている。</p> <p>【言】 相手に応じて言葉を選んだり、主語・述語の対応や一文の長さ気をつけたりしている。</p>	
1月	単元名・教材名	詩の楽しみ方を見つけよう(2)	
	指導目標	◎内容や描写を捉え、優れた叙述を味わいながら、自分なりに工夫して音読したり、その詩のよさを楽しむ方法を考えたりすることができる。	
	言語活動	■詩の楽しみ方を見つける。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 教科書にある詩の中からお気に入りの詩を選び、自分なりに工夫して音読する。</p> <p>2 「いろいろな詩の楽しみ方」を参考に、詩をノートに書き写したり、飾るために色紙に書いたりして、生活の中での楽しみ方を体験する。</p>	<p>・おもしろい表現を探させたり比喩や反復効果について考えさせたりすることで、興味や関心を高める。</p>
		<p>【関】 詩の内容や表現のおもしろさを楽しみながら読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容が伝わるように音読している。 ・優れた表現に着目し、気に入った詩を見つけている。 <p>【言】 比喩などの表現の効果に気づき、語感や言葉の使い方に関心をもっている。</p>	
1月	単元名・教材名	8 事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう・想像力のスイッチを入れよう [コラム] 直接対面しない相手とのやり取りでは(6)	
	指導目標	◎事実と感想、意見との関係を押さえて、自分の考えを明確にして読むことができる。	
	言語活動	■昔意見を述べた文章を読み、自分の課題解決に生かす。	
		学習活動	指導上の留意点

	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 教材文を読み、事例と筆者の考えを整理して、事例と筆者の考えがどのように結び付いているかを考える。</p> <p>3 筆者が「想像力のスイッチ」という表現のしかたをしたのはなぜかを考える。</p> <p>4 筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。</p> <p>5 メディアとの関わり方について、P185の観点を参考に、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>6 書いたものを友達と読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分とメディアとの関わりについて、発表し合う。 ・教材文を読み、共感したことや疑問に思ったことを簡単に書く。 ・「メディアとの関わり方について、自分の考えをまとめよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P185 のコラムも参考に、情報を発信する立場、受信する立場がそれぞれ努力すべきことを考える。
	<p>【関】題材に興味をもち、自分の知識や経験などと関係づけながら、意見文を書こうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を把握し、事例と筆者の考えを整理しながら読んでいる。 ・筆者に対する自分の考えをまとめている。 ・友達の感じ方や考え方との共通点・相違点を確認している。 <p>【言】語感や言葉の使い方に対して関心をもち、読んでいる。</p>	
1月	<p>単元名・教材名 漢字の広場⑤（1）</p>	
	※以下、漢字の広場①（4月）に準ずる	
1月	<p>単元名・教材名 ・見るなのざしき（1）</p>	
	<p>指導目標 ◎内容や描写をとらえ、叙述を味わいながら、詩のよさを楽しむ方法を考えることができる。</p> <p>言語活動 ■昔話の読み聞かせを聞く。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	1 教師による範読を聞き、思い浮かべた様子や印象に残った言葉や表現について話し合う。	・印象に残っている言葉や表現をグループで話させ、想像を広げやすくする。
	<p>【関】人物や場面の様子を想像しながら聞こうとしている。</p> <p>【読】読み聞かせを聞いて、登場人物の心情や場面の様子を捉えている。</p> <p>【言】読み聞かせを聞いて、昔話に特有の語や表現に気づいている。</p>	
1月	<p>単元名・教材名 ・すいせんします（6）</p>	
	<p>指導目標 ◎考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づけることができる。</p> <p>言語活動 ■理由を明確にして、推薦したり、それを聞いたりする。</p>	
	学習活動	指導上の留意点

	<p>1 複数の推薦文を比べ、どれが推薦としてよりよいかを話し合う。</p> <p>2 教材文を読み、「説得力のある構成を考え、すいせんするスピーチをしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>3 目的や条件を確認し、推薦するものを決める。</p> <p>4 推薦の理由づけとして必要な事実を考えたり、取材したりする。</p> <p>5 推薦する理由をはっきりさせて整理する。</p> <p>6 P192 のスピーチメモを参考に、内容や話す順序を考え、スピーチメモを作る。</p> <p>7 P193 のスピーチを音声CDで聞き、話すときに気をつけることを考え、スピーチの練習をする。</p> <p>8 スピーチをし、互いに気づいたことを伝え合う。</p> <p>9 学習を振り返り、推薦に必要なことや、説得力のあるスピーチのための工夫を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 理由を明確にして推薦することをおさえる。 教師が推薦文（「求められていること」「目的」が明確なものとそうでないものを準備したり、児童に、身近な物を友達に薦める簡単な文章を書かせたりして、比べさせる。 複数の資料を組み合わせるとつながりの話になるように意識させる。 質問をしたり感想を話したりしてもよい。
	<p>【関】 事物や人物を推薦するための事柄に気づき、話したり聞いたりしながら確かめようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や条件に照らして、推薦する内容を考えている。 収集した情報を整理分析し、推薦する理由として考えをまとめている。 聞き手が納得できるように内容を構成している。 <p>【言】 話し言葉と書き言葉の、働きや特徴の違いに気づいている。</p>	
2月	<p>単元名・教材名</p>	<p>複合語（2）</p>
	<p>指導目標 ◎語句の構成、変化についての理解を深めたり語句の由来について関心をもったりすることができる。</p>	
	<p>言語活動 ■いろいろな複合語を理解し、声に出して読みながら使われ方を確認する。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 教材文を読み、複合語のでき方と組み合わせ方を理解する。「飛び——」に当たる複合語を集めて短文を作り、複合語の組み合わせ方の種類について、ノートに整理する。</p> <p>2 長い複合語、発音が変わる複合語を声に出して読み、縮め方や発音の変化を確かめる。複合語を国語辞典で調べるときの調べ方について、辞典を引きながら確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 短文作りをするのもよい。 長い複合語、発音が変わる複合語を扱う。
	<p>【関】 複合語のおもしろさに興味をもち、言葉を集めて国語辞典で調べようとしている。</p> <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。 複合語とは何かを知り、組み合わせ方を理解し、幾つかの組み合わせ方の複合語を集めている。 	
2月	<p>単元名・教材名</p>	<p>冬の朝（2）</p>
	<p>指導目標 ◎文古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。</p>	
	<p>言語活動 ■季節の移り変わりを表す言葉や、語感や言葉の使い方に関心をもつ。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

	<p>1 冬のどんどころが好きかについて発表し合う。</p> <p>2 「枕草子」を音読したり暗唱したりし、「冬」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。</p> <p>3 「枕草子」や教科書に出てくる冬を表す言葉を参考に、冬らしいものや様子について文章に書く。</p> <p>4 書いたものを互いに読み合い、交流する。</p>	<p>・教科書以外にも、冬を表す言葉を集めさせて、児童の興味や関心を高める。</p>
	<p>【関】冬を表す言葉に興味をもっている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・表現の効果などを確かめている。 <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。 	
2 3 月	<p>単元名・教材名</p>	<p>9 特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう・わらぐつの中の神様 [コラム] 方言と共通語 (7)</p>
	<p>指導目標 ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめ、深めることができる。</p> <p>言語活動 ■物語を読んで、自分の考えをまとめる。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 登場人物の人柄やものの見方・考え方、物語の構成、使われている言葉や表現といった観点で教材文を読み進め、自分の考えをまとめる。</p> <p>3 「登場人物の人柄やものの見方・考え方」「物語の構成」「使われている言葉や表現」のグループに分かれて、教材文のおもしろさについて考えを深める。</p> <p>4 グループごとに発表し、教材文のおもしろさについて交流する。</p> <p>5 これまでに学習した物語や読んだ本を取り上げ、P221の観点で教材文と比べて読み、作品の特徴をグループで交流する。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの読書経験を想起し、作品と読後の印象、その印象をもたらした理由について考え、発表する。 ・教材文を読み、「物語の特色をとらえ、物語をめぐって話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・P223のコラムで方言と共通語の特徴を押さえ、教材文で方言が用いられていることの効果を考える。 ・題名が表しているものについて考える。
	<p>【関】心に残る言葉、文章、情景や、全体の構成を楽しんで読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や心情表現、行動を表す語や文に注目し、登場人物どうしの関係、人物像などを読み取っている。 ・「題名」「構成」「表現」の観点で他の作品と読み比べ、共通点や相違点に気づいている。 <p>【話・聞】共通語と方言との違いを理解し、言葉を使い分けて話している。</p> <p>【言】文章にさまざまな構成があることに気づき、その効果について意識している。</p>	
3 月	<p>単元名・教材名</p>	<p>・一まいの写真から (5)</p>
	<p>指導目標 ◎写真から想像を広げて、物語に書くことを考え、文章全体の構成の効果や表現の工夫をして物語を書くことができる。</p> <p>言語活動 ■物語を書く。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

	<p>1 教科書にある7枚の写真の中から1枚を選び、写っているものやそのものの様子について、想像を膨らませる。物語の書き方を理解し、書く準備をする。</p> <p>2 物語の大まかな構成を考え、表にまとめる。</p> <p>3 表現を工夫して、物語を書く。</p> <p>4 作品を読み合い、友達の作品のよさや工夫されている点などを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の想像がふくらまないときは、教科書の写真以外を扱ってもよい。 ・P226を参考に、「時」「場所」「人物」「気持ち」に関わる言葉を想像し、書き出す。 ・書き出した言葉を見ながら、どんな物語にするか設定を考える。 ・物語の書き方をおさえてから書かせる。「練馬の子ら」の創作文にあてることもできる。 ・これまでに読んだ物語の表現や、P227の工夫の観点を参考にする。 ・下書きを友達と読み合い、助言し合う。 ・清書した物語を集め、クラスの短編集を作る。
	<p>【関】写真に興味をもち、物語を書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を整理して、必要なものを選んでいる。 ・いろいろな文章の組み立てに気づき、目的・効果といった点から組み立てを選んで書いている。 ・表現の効果などを確かめている。 ・他者の文章を読んで、優れた点などを具体的に指摘している。 <p>【言】物語の構成に気づいている。</p>	
3月	<p>単元名・教材名</p>	<p>漢字の広場⑥（2）</p>
	<p>※以下、漢字の広場①（4月）に準ずる</p>	
3月	<p>単元名・教材名</p>	<p>六年生になったら（1）</p>
	<p>指導目標 ◎考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を集めることができる。</p>	
	<p>言語活動 ■自分の思いを伝える文章を書く。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 これまでの小学校生活を振り返り、楽しかったことやがんばったことを書き出す。</p> <p>2 「6年生になったら」というテーマで、6年生への期待や抱負を文章に書く。</p> <p>3 書いたものをグループで読み合い、感想を伝え合う。</p>	
	<p>【関】「6年生になったら」というテーマで、自分の思いを進んで文章に書こうとしている。</p> <p>【書】テーマに即して、書きたいことを集め、決めている。</p> <p>【言】語感や言葉の使い方に対して関心をもっている。</p>	

第5学年書写 年間指導計画

ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。

イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

月	単元名・教材名	時数	目標	主な学習活動と留意点
4 ・ 5 ・ 6	1 字形を整えて書こう ・ ほ先の動きと点画のつながり 1 「平和」	毛筆 4～ 5	漢字の穂先の動きと点画のつながりを理解して、字形を整えて書くことができる。	1 穂先を次の画の始筆につなぐ気持ちで書くと、終筆の方向が定まり、字形が整うことを知る。 2 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「平和」を書く。
6	・ ほ先の動きと点画のつながり 2 「よもぎ」	毛筆 4～ 5	平仮名の穂先の動きと点画のつながりを理解して書くことができる。	1 点画をつなぐ気持ちで書くと、筆使いが柔らかくなり、平仮名らしい丸みが出ることを知る。 2 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「よもぎ」を書く。
	・ すばやく書き留めるために	硬筆 1～ 2	目的によって、書く速さを変える必要があることを理解することができる。 インタビューをして、相手の話の要点を書き留めることができる。	1 すばやく書き留めるための方法を知る。 2 目的によって、書く速さはどう変わるかを話し合う。 3 インタビューをして、相手の話の要点を書き留める。 4 インタビューの内容を報告する。
7	自分の文字を見つめる	硬筆 1～ 2	日常の自分の文字の課題を見つけ、字形や配列を整えて書こうとする意欲を高めることができる	1 硬筆で「光る朝つゆ」を書き、自分の文字に当てはまる課題を見つける。 2 字形や配列を整えるためのポイントを確認める。
	筆順と字形		正しい筆順で、字形を整えて書くことができる。	1 それぞれの漢字の部分の筆順を確認める。 2 筆順と字形に気を付けて、硬筆で漢字を書く。
9	部分の組み立て方 1 (によう) 「道」	毛筆 4～ 5	「しんによう」の書き方や部分の組み立て方を理解して書くことができる。	1 「しんによう」の書き方と「によう」を部分にもつ漢字の組み立て方を知る。 2 「しんによう」の形や部分の組み立て方に気を付けて、毛筆で「道」を書く。
10	部分の組み立て方 2 「広がる夢」	硬筆 1	字の部分どうしの位置や大きさの関係を理解して、字形を整えて書くことができる。	1 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係（左右の幅、上下の幅、「によう」を書く位置）を確認める。 2 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識して硬筆で漢字を書く。
	手書き文字と活字		手書き文字と活字の字形や筆順を比較し、その違いを理解することができる。	1 3種類の「表」の違いについて、字形や読みやすさ、受ける印象などを話し合う。 2 手書き文字と活字の違いを知る。
	2. 読みやすい紙面構成を考えよう ・ 文字の配列	硬筆 1～ 3	簡条書きにするときの配列の整え方を理解して書くことができる。	1 P18に教科書の活字の文章を書く。 2 P19の例と1で書いたものを比較し、どうすればより分かりやすくなるかを話し合う。 3 簡条書きにするときの配列の整え方を知る。 4 文字の配列に注意して、ノートにもう一度書く。 5 横書きの場合の書き方を確認める。
	用紙に対する文字の大きさ	毛筆	用紙に対する文字の大きさや配置	1 P21にフェルトペンや筆ペンで「飛行」

	「飛行」	3～ 4	を考えて書くことができる。	<p>を書く。</p> <p>2 P22の例と1で書いたものを比較し、どうすれば全体のバランスがよくなるかを話し合う。</p> <p>3 用紙全体の大きさと文字数を考えて、書く前に文字の大きさと配置を決めること、用紙の上下左右に余白を取ることを知る。</p> <p>4 用紙に対する文字の大きさや配置を考えて、毛筆で「飛行」を書く。</p>
	筆記具の選たく	硬筆 1	場面や目的に合わせて筆記具を使い分ける必要があることを理解することができる。	<p>1 P24のそれぞれの場面で使いたい筆記具を練で結び、その理由を話し合う。</p> <p>2 場面や目的に合わせて筆記具を使い分ける必要があることを知る。</p> <p>3 P25のポスターに見られる、筆記具の工夫について話し合う。</p>
	3. 学習したことを生かして書こう ・書きぞめ 「希望」「進む勇氣」	毛筆 5～ 6 ・ 硬筆 0～ 1	これまでに学習したことを生かして書くことができる。	<p>1 「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。</p> <p>2 これまでに学習したことを生かして、毛筆で「希望」や「進む勇氣」を書く。</p> <p>3 これまでに学習したことを生かして、硬筆で「冬はつとめて。…」書く。</p>
	・五年生のまとめ 「近づく春」	毛筆 4	これまでに学習したことを確かめ、課題を選んで書くことができる。	<p>1 5年生で学習したことを確かめる。</p> <p>2 5年生で学習したことの中から課題を選び、「近づく春」を書くときに意識することを書き込む。</p> <p>3 課題を意識して、毛筆で「近づく春」を書く。</p>